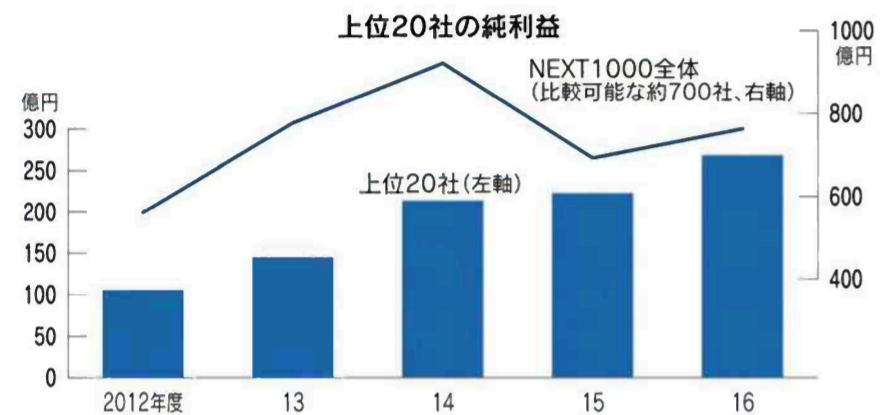


安定して純利益を稼いでいる企業

順位	社名	業容	5年間の平均純利益額(百万円)	直近決算の純利益(百万円)
1	光製作所	家具、不動産賃貸	1,384	1,665
2	福井コンピュータホールディングス	建設用ソフト	1,378	2,009
3	エフオン	省エネ支援、グリーンエナジー	1,325	2,004
4	大幸薬品	大衆薬、感染管理商品	1,289	1,049
5	日創プロニティ	金属加工	1,234	624
6	メック	電子基板製造用薬品	1,210	1,642
7	M&Aキャピタルパートナーズ	M&A仲介	1,075	2,603
8	ソースネクスト	パソコンソフト	1,060	1,070
9	大研医器	病院での感染防止や麻酔科向け医療機器	1,033	1,246
10	日進工具	小径の超硬エンドミル	991	1,420

上位20社の純利益



11	ウルトラファブリックス・ホールディングス	家具、車両、手袋、衣料向け合皮	971	2,912
12	ダブル・スコープ	電池用セパレーター	961	1,945
13	ペプチドリーム	特殊ペプチドを使った医薬品候補物質	952	1,890
14	ランドビジネス	都心のオフィス・商業ビルなど不動産売買	857	496
15	リニカル	医薬品の開発業務受託	856	1,447
16	朝日ネット	インターネット接続	835	950
17	じげん	求人や旅行などの検索サイト	818	1,473
18	リベレステ	マンション分譲	816	872
19	天竜製鋸	超硬刃付き丸のこ	808	819
20	学情	就職情報	777	1,220

上位20社の純利益は2016年度に前年度比20%伸び、伸び率は上場企業全体(17%)を上回った。ただNEX T1000全体(比較可能な約700社)で見ると16年度の純利益伸び率は10%にとどまり、中堅上場企業の伸び率にはばらつきがある。

上位20社の中で5年平均の純利益額が10億円を超えた企業は9社だが、直近決算期に限定すると15社に増える。そのうち20億円を超える企業もウルトラファブリックス・ホールディング

転職サイトなどサービスも上位

スなど4社あった。上位企業には成長企業も多いことがわかる。

上位には独自技術や専門性を持つ企業が多い。9位の大研医器は医療用の吸引器が好調で、5期連続で過去最高の純利益を達成。15位のリニカルは医薬品開発受託事業を中心に国内外で事業を拡大している。

サービス業も上位に入った。20位の学情は就活イベントや20代専門の転職サイトが伸びている。17位のじげんも求人情報を一括閲覧できるサイトが人気だ。

▶純利益の5年間平均



安定収益軸に商品磨く

日本経済のけん引役と期待される中堅上場企業「NEX T1000」を対象に純利益額の5年間平均をランキングしたところ、収益を安定させる事業モデルを持つ企業やニッチな市場で競争力の高い商品・サービスを持つ企業が上位に並んだ。老舗も時代の変化に合わせて事業内容を柔軟に変化させている。独自の成長戦略で伸びている新興企業もランキングした。

調査の概要 上場する国内企業のうち、直近決算期の売上高が100億円以下の995社を対象。直近決算まで5年間の純利益額平均が多い企業をランキングした(金融や決算期変更会社などを除く)。データは1月12日時点、原則として連結決算。純利益は会社がその決算期間に最終的に稼いだ利益を指す。

16位 朝日ネット

教育支援を次の柱に

朝日ネットはネット接続サービス(ISP)が売上高の9割を占める。業界では老舗の一つとされ、現在も7%弱の株を持つ朝日新聞社などが設立した。光回線やモバイルルーター、格安SIMといった通信手段のほか、セキュリティなどのサービスを個人と法人に提供する。

光回線の契約数を着実に積み上げ、2017年3月期の単独税引き利益は前期比8%増の9億5000万円と5期ぶりの高水準になった。もっとも光回線は

普及が一巡しつつある。18年3月期は税引き利益は7億円と前期から26%減る見通し。ネットワーク機器の更新などで費用が増える。次の収益の柱として力を入れているのが、教育支援サービス「manaba(マナバ)」だ。大学で使われるシステム関連のサービスを統合したもので、学生の履修情報の管理や課題提出、学内掲示板といった機能を搭載できる。導入実績は17年9月時点で78校。鹿児島大学や旭川医科大学なども導入している。